THE YAMATO INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

Pal ～仲間

2023 Winter Edition Vol.120

2023年（令和5年）12月28日発行

外国人市民サミット開催報告……1
Connecting with the World－「世界とつながろう」……2
やまとワールドフェスタ2023を開催しました！、
知っておきたい外国人のための地域の相談窓口……3
公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ……4

発行■ 公益財団法人 大和市国際化協会
〒242-0018 大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ベテルギウス北館1階
TEL 046-265-6051　FAX 046-265-6052
URL：http://www.yamato-kokusai.or.jp
Email：pal@yamato-kokusai.or.jp

外国人市民サミットを開催しました。

9月30日、生涯学習センターSiRiUSで外国人市民サミットを開催しました。この企画は、地域に住む外国人市民と市長との懇談の場を設けることを目的として大和市より委託を受けて当協会が毎年実施しているもので、今年で15回目の開催となりました。

古谷田新市長を迎えた今回のサミットのテーマは「わたしの現在、過去、未来」。

現在市内には、88の国と地域にルーツのある約7,810人の外国人市民が生活しています。しかし、一言で外国人と言っても、一人ひとりには異なる背景があり、日本にいる理由も多岐にわたります。今回カナダから来日したばかりの高校生、パキスタンにルーツを持ち日本で生まれ育った中学生、ベトナムから帰化しレストラン事業を起こした方や、滞日歴10年で英会話教師をしているアメリカ人の方など多種多様なバックグラウンドを持つ16名の方々にご参加いただき、今までにどういった経験があり、どんな生活をしているのか、これから何をしていきたいのか等について話していただきました。

2人の子どもを持つベトナム人の女性は、本国でITエンジニア、病院事務員として働いたのち1年前に来日し、今はベトナム出身の社長がいる機械会社で働いています。日本人の友人はそんなにいないけれど、日本語で誰とでも交流ができるアプリで生活上困ったことがあれば相談にのってもらい、日本語を教えてもらっていると聞き、そんなアプリがあるんだ！と驚きました。子どもたちのためにまだ慣れない土地で英会話教室やスポーツができる場所を熱心に探しているということや、将来は日本で夫と自分たちの会社を立ち上げたいという夢も話してくれました。

もっと日本語が上手になりたい、忍者になりたい、大学に入りたいという将来への希望や、日本の電車に乗るのが難しかったこと、日本に来ることを親に反対されたことなどの困難を乗り越えてきた経験まで様々なお話を聞かせていただき、普段関わっている外国人市民の皆さんがどんな方なのかより深くわかり、外国人市民と地域住民の関わり方を協会としてどうサポートできるのか、考え直す機会になりました。お互いの情報を共有することで、相手との繋がりができるだけでなく、相手の“これから”に興味を持つきっかけにもなります。当協会は、外国人市民の方のお話を伺う場としてクロスカルチャーセミナーも行っておりますので、ぜひご参加ください。（クロスカルチャーセミナー「世界とつながろう」を次のページでご紹介しています。）

Connecting with the World - 「世界とつながろう」

当協会では、クロスカルチャーセミナー「世界とつながろう」を開催しています。世界の友だちプロジェクト大和の会の荒谷ルカさんがホストとなり、外国人市民の方をゲストスピーカーにお招きして、会場のみなさんも交えお話しするイベントです。コロナの影響で人的交流が少なくなってしまった状況に危機感を覚えた荒谷さんが発起人となり、大和市生涯学習センターと当協会が協力する形で2021年度から実施しているものです。当協会は、いろいろな国の人たちが出会い、お互いの文化に触れて楽しむことができる場づくりを通して、地域の国際化を実践する人を応援したいと考えています。

9月にシリウスで行われた第7回「世界とつながろう～外国人にとってのリアル医療現場～」では、ペルー出身のシェイラさんとカナダ出身のタメーラさんに自身の経験も織り交ぜつつ、外国人を取り巻く医療環境についてお話ししていただきました。ここでは、その内容をご紹介します。

シェイラさん

13歳の時に、先に日本に来ていた両親の元に姉・妹とともに来日。編入した中学校では、外国人は自分のみという環境で日本語の習得に励みました。日本語がままならず、通訳を頼りながら日本で生活する両親の姿を見て、「両親のような外国人と日本社会の間に立ちたい」と思い、高校卒業後、姉と看護学校へ進学しました。卒業後は出入国管理局で通訳として勤務し、8年前から大和南病院で看護助手として働き始めました。就職当初、通訳はやらないつもりでいましたが、ペルー出身の患者の通訳を担当したことがきっかけとなり、看護助手とスペイン語通訳の二足の草鞋を履くことに。外国人患者が増加し、現在は通訳専属として勤務しています。1日に約20人の患者に対応することもあり、忙しい毎日ですが、患者の心のケアに気を配っています。口では大丈夫と言っている人も、話をすると不安や不満を漏らします。手を握ったり、診療室以外でお話を聞いたりするだけでも、ものすごく感謝されるので、患者たちに寄り添い、心の支えとなれるように努力しています。

また、ペルーには日本のような公的医療保険がないこともあり、体調が悪くても病院にかかろうとは思わない人が多くいます。体の調子がおかしくても、市販の薬を飲むだけで自己完結してしまうこともあるようです。健康診断を勧めてもなかなか受診しない方もいて、市のがん検診の無料クーポンはゴールデンチケットだよと伝えています。言語・情報の壁に加え、ペルー人の健康への意識の違いが医療へのアクセスを難しくしていると感じています。

タメーラさん

中国やフィリピン、ベトナムからの移民が多く暮らすバンクーバーで育ちました。数学の教師を目指していた時期もありましたが、現在は、上は12歳、下は1歳半になる5人の子どもを持つ主婦です。同国出身の夫の仕事の関係で2010年に来日し、出産・子育てを日本で経験してきました。

出産経験を通して、カナダと日本の医療にかかる費用や体制など様々な点での違いを実感しました。まず、カナダでは国民が医療を受けるのは、基本的に無料。出産費用がかかるという意識がなかったので、自己負担で出産するということに驚きました。また日本では分娩後5日ほどで退院ですが、カナダでは2日で退院です。無痛分娩ができる病院を探すのにも苦労しました。

英語を話す看護師の方もいましたが、日本語は難しく、問診票や書類に自分で記入する必要がある時は大変でした。特に出産後の第5子の足の手術の際、外国人であるという証明に時間がかかり保険証がすぐにもらえず、結局自費で受診してから返金手続きをすることになりました。こういった手続きを含め、日本での出産は日本語が読み書きできる夫のサポートがなければ難しかったと思います。

病院から家に帰るまでのサポートや出産後の母親のサポートが存在するのは知っていますが、言語や慣れないシステムを利用することへの不安から外国人である私にとっては利用が難しいと思いました。入院時に出てきた食事に納豆や知らないシーフードが入っており戸惑ったこともあります。その様な中で、離乳食の与える順番について医師がカナダと日本の違いを説明し、自分でどちらにするか決めるために選択肢を提示してくれたことが有難かったです。

「世界とつながろう」では、外国人市民からお話をうかがう場を設け、地域住民同士が直接言葉を交わすことで外国文化や異なる価値観への関心を高める機会をつくっています。子どもから大人まで、市内外問わずどなたでも無料でご参加いただけます。次回は3月24日（日）10時からシリウス6階で行う予定です。詳細はホームページでお知らせしますので、ご参加お待ちしております。

やまとワールドフェスタ2023を開催しました！

10月22日、大和駅東側やまと広場・図書館の道にて「やまとワールドフェスタ2023」が開催されました。今回は「やまと世界料理の屋台村」の後身として、以前にもあった外国料理の屋台・国際色豊かなステージに加え、外国雑貨などを販売するバザールが加わりました。当日は天気に恵まれ、絶好のお祭り日和。コロナ明けということもあり、たくさんのお客様にご来場いただきました。出店者、ステージ出演者、そしてご来場くださった皆様、ありがとうございました！

Guma Famagu'on Tano' yan I Tasi（グアムチャモロダンス）

Cultural Quinto Suyo（マリネラ舞踊）

トロバドーレス（フラメンコ）

琉球國祭り太鼓（エイサー）

aLo aLo（ベトナム料理）

K'ASWA（ペルー料理）

Grupo de Danza ARARESA（パラグアイダンス）

MAKI ARTS（ペルー雑貨）

インバヤ（エクアドル雑貨）

知っておきたい外国人のための地域の相談窓口

国際化協会の多言語通訳サービス
046-265-6053

- ■ 曜日によって異なる、5言語（英語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、中国語）の通訳員がいます。
- ■ 18言語の登録ボランティアとトリオフォンを使って電話で話すことができます。
- ■ 有料で通訳ボランティアをご希望のところへ派遣します。

右は、近隣の主な多言語による専門相談窓口です。いずれも無料で相談をすることができます。言語によって相談を受け付けている曜日・時間が異なりますので、各HPやこちらのQRコードからご確認ください。

教育相談（5言語）
地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
045-896-2972

労働相談（2言語）
かながわ労働センター県央支所
046-221-7994

在留資格相談（4言語）
神奈川行政書士会
045-227-5560

法律相談（6言語）
地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
045-896-2895

医療相談（9言語）
AMDA国際医療情報センター
03-6233-9266

女性のためのDV相談（8言語）
かながわ男女共同参画センター
090-8002-2949

公益財団法人 大和市国際化協会からのお知らせ

9:00~16:00 ベトナム語 / 10:00~13:00 タガログ語 / 10:00~13:00 中国語 / 9:00~17:00 スペイン語

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24 外国人ママのひろば	25	26	27
28	29	30				

2月

						3 ピックアップ! 日本語ボランティア交流会
4	5	6	7	8	9	10
ピックアップ! 多文化共生防災訓練		13	14	ピックアップ! 日本語教授法ブラッシュアップ講座1		17
18	19	20	21	22	23	24
25	26		28 外国人ママのひろば			

外国語版情報紙発行

3月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	ピックアップ! 日本語教授法ブラッシュアップ講座3		16
17	18	19	20	21 外国人ママのひろば	22	23
24/31	25	26	27	28 Pal Vol.121 発行		30

土曜開庁日　【毎週火曜日】かんたんな日本語教室(午後6時より)

■公益財団法人大和市国際化協会
〒242-0018
神奈川県大和市深見西1-3-17
市民活動拠点ベテルギウス北館1階
Tel: 046-265-6051
Fax: 046-265-6052
Email: pal@yamato-kokusai.or.jp
http://www.yamato-kokusai.or.jp
受付時間　月・水・金　第1、3土曜日
8:30～17:00
火・木　8:30～20:15

ピックアップ!

①開催日時　②開催場所　③費用　④内容　⑤講師　⑥対象　⑦定員　詳しくは、国際化協会のホームページ(http://www.yamato-kokusai.or.jp/)でご確認ください。お問い合わせ、お申込みは、電話、窓口、Fax、Emailで受け付けます。

注　意

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

現在、利用者のマスクの使用は任意としています。入室時の記録簿の記入、使用後の机・椅子の清掃は引き続き実施していますのでご協力ください。また、飲食をする場合、事前に申告し感染対策を徹底してください。

多文化共生防災訓練

大きな災害に備え、日本語がわからない人に災害の情報を伝えることができるよう、訓練を実施します。
①2月18日(日)9時30分から正午　②光丘中学校　④災害のときに外国人が直面する課題などについての講義及び外国人参加者との合同ワークショップ(やさしい日本語とピクトグラムを使った情報伝達)　⑤NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事　高橋伸行氏、大和市役所危機管理課　⑥どなたでも

日本語ボランティア教師養成講座

外国人市民に日本語を教えるボランティアに挑戦してみませんか。ボランティアの心構えや教え方を学ぶ講座を開講します。
①2024年2月から3月の間に全7回の日程で開催します。詳しくは協会のウェブサイトでご確認ください　②市民活動拠点ベテルギウス北館1階会議室　③資料代として1,000円　④日本語指導法の基礎、地域に暮らす外国人市民の現状を学ぶ　⑥講座終了後、国際化協会登録ボランティアまたは市内日本語サークルのボランティアとして活動できる方　⑦30名　1月4日(木)より先着順に受け付け

日本語ボランティア交流会

「マイクロアグレッション(マイノリティーに向けられる無意識の差別)」や「アンコンシャスバイアス(無意識の偏ったモノの見方)」をキーワードに、ボランティア間で交流し活動の悩みや不安を共有します。
①2024年2月3日(土)午後1時30分から3時30分　②オンライン(ZOOM)　⑤渋谷実希氏(東京大学教養学部非常勤講師)　⑥当協会登録ボランティアのほか、ご近所や職場、学校などで外国につながる市民と交流する機会の多い方などどなたでも

日本語教授法ブラッシュアップ講座

1「変わる日本語教育の今に合わせた「学習の目標」のたて方」
①2024年2月17日(土)午後1時30分から3時30分
②市民活動拠点ベテルギウス北館会議室
⑤吉田聖子氏(文化庁　地域日本語教育スタートアッププログラム アドバイザー)
2教科書の最前線！
①3月上旬の開催を予定しています。日時は改めてお知らせします
②市民活動拠点ベテルギウス北館会議室・国際交流サロン
⑤佐々木あや氏(オフィスbamboo／日本語教育事業・外国人材教育事業コンサルタント)
当日は書籍展示会(協力:凡人社)も実施します
3「コロケーション」ってなんですか?
①2024年3月16日(土)午後1時30分から3時30分
②市民活動拠点ベテルギウス北館会議室
⑤河島ゆりか氏(にほんごの会企業組合)
いずれも参加費無料
⑦定員30名　対象は日本語ボランティアとして活動されている方です。